

会合

令和6年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省の「新興国等脱炭素化・エネルギー転換事業（省エネルギー人材育成事業）」の委託を受けて、2024年8月6日～7日の2日間フィリピン・マカティで本年度の AJEEP（ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership）事業の初回会合をハイブリッドで開催しました。今回の会議では、4年間の計画で開始した以下の2つのスキームの3年目となる今年度の実施計画を確認しました。

- (1) ASEAN 共通のエネルギー管理及びその応用に関する資格制度確立（スキーム4）
- (2) カーボンニュートラル（CN）に向けたエネルギー利用技術の普及促進（スキーム5）



初回会合の参加者

会合には、ASEAN 省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表であるタイ国の他7カ国とコーディネーターとしての ACE（ASEAN Centre for Energy）が対面で参加し、2カ国がオンラインで参加しました。主な確認内容は以下の通りです。

- (1) 開会挨拶では、ホスト国フィリピンのエネルギー省、EE&C-SSN コーディネーターのタイ国エネルギー省代替エネルギー開発・効率化局及び ACE から、AJEEP の活動を通じて ASEAN 地域全体が持続可能で安定的かつ自立したエネルギーの未来に移行することへの期待が述べられました。ECCJ からは CN に向けたスキーム4、5事業の重要性と2025年度の事業完成にむけた今年度活動への期待が述べられました。
 - (2) スキーム4については、ASEAN 地域のエネルギー管理士（*SAEMAS Common Standard Energy Manager）として認定されるために必要な①共通標準モジュールや、②認定された管理士が ASEAN 全域で活躍できるための*MRA ガイドライン案、③CN に向けた高度なエネルギー管理を行える専門家人材を認定するためのアドバンスモジュールの最終案を受入研修やオンライン・ワークショップで完成させること、また、昨年度の5カ国に引き続き4カ国（フィリピン、ブルネイ、ラオス、カンボジア）を訪問し、各国の国内エネルギー管理士認定制度整備推進と国内システム・SAEMAS 間の相互承認に係る MRA を可能とするための条件等について協議すること、が合意されました。
 - (3) スキーム5については、昨年度 CN 診断を実施した化学製品工場（マレーシア）と公立病院（タイ）で CN プロジェクトを立ち上げるための会議を行うこと、また今年度の CN 診断は4か所（産業2か所、ビル2か所）に拡大して実施すること、などが合意されました。
- 以上の諸活動は、専門家派遣・受入研修の対面方式と、セミナーやワークショップのオンライン実施も組み合わせることで効果的に進めることとし、年間スケジュールについても合意されました。

*SAEMAS: Sustainable ASEAN Energy Management Certification Scheme

*MRA: Mutual Recognition Arrangement